

万能物置

【DMG-7/DMG-7H】

【DMG-7】全高:1,920mm / 奥行:1,795mm / 全幅:1,660mm

【DMG-7H】全高:2,500mm / 奥行:1,795mm / 全幅:1,660mm

このたびは、多目的万能物置をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書をよくご覧になってから組み立ててください。

- 組み立て前に各部の形状、部品数量が揃っているか確認してください。
- スチール製のため、組み立てる際はケガをしないように手袋等を着用してください。
また、作業は必ず2人以上で行ってください。

アイデア次第でいろんな用途に
ゆったり余裕のスペース!! 使い方は無限大!!

簡易休憩所

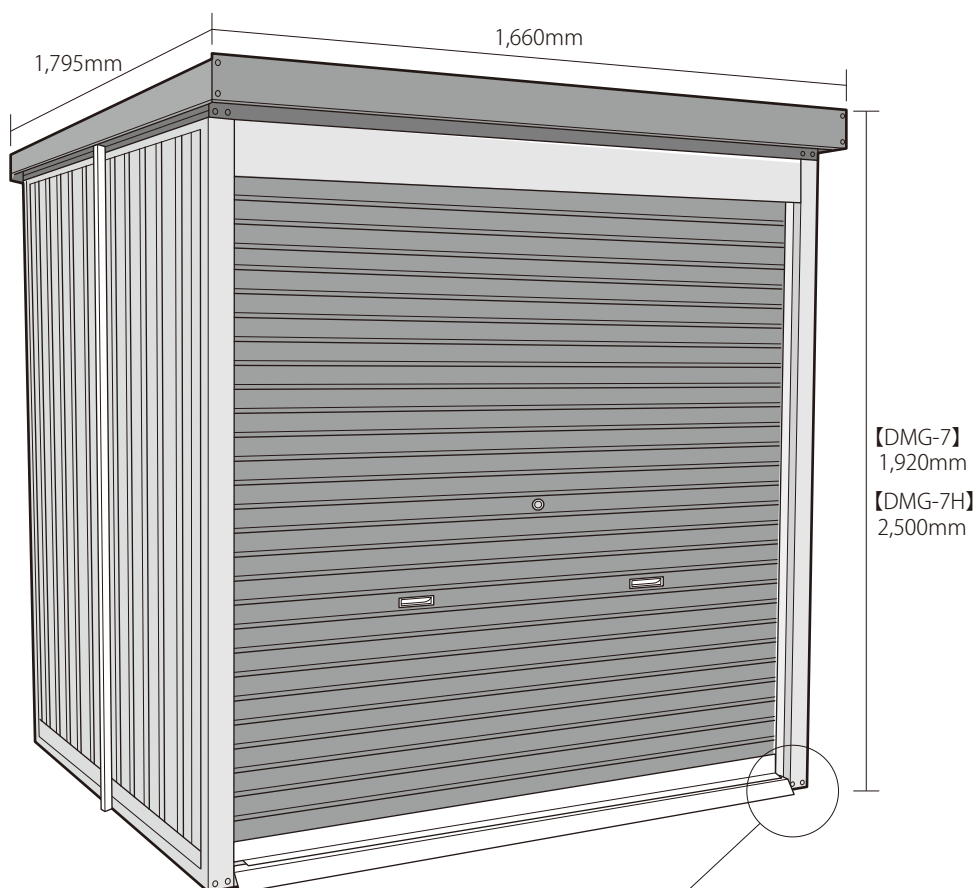
自転車・バイク物置場

作業場・農機置場

露店小屋・仮店舗

自治会 町内会 公認ゴミステーション

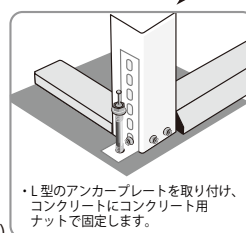
約0.79坪



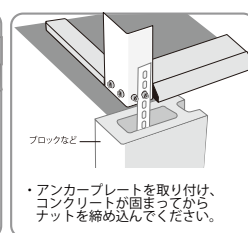
部材名	材料	鉄板厚さ
ベース	ガルバリウム鋼板	1.6mm
屋根・壁	ガルバリウム鋼板	0.27mm
屋根周り	塗装鋼板	0.8mm
縦柱他	ガルバリウム鋼板	1.0mm

※転倒防止の為、アンカー工事は必ず行ってください。

- 幅・奥行き・深さとも約25cmの穴を掘り、コンクリートを流し込んでください。(4ヶ所)
- 組み立て 及び アンカー工事費別途



・L型のアンカープレートを取り付け、コンクリートにコンクリート用ナットで固定します。



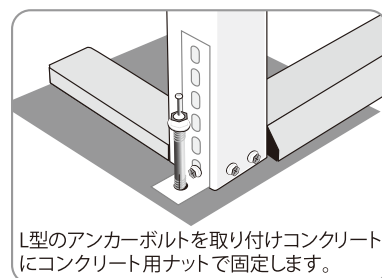
・アンカープレートを取り付け、コンクリートが固まってからネットを締め込んでください。

※アンカーボルトは8φ～10φ
長さ70～80mmのものをご使用ください。

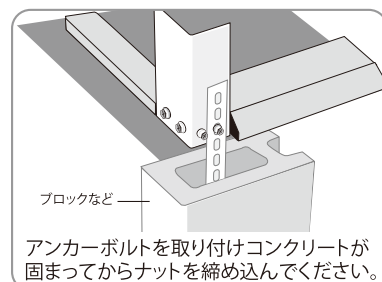
**危険****取り扱い上の注意**

1. 転倒防止のため、必ずアンカー工事を行ってください。
2. 屋根に乗ったり、物を乗せたり、ぶら下がったりしないでください。
3. 積雪時には早めに雪下ろしをしてください。安全のために30cm以下で行ってください。
4. 屋根や樋に木の葉や泥を溜めないでください。(雨漏りと錆発生の原因になります。)
5. 基礎部の水はけが良い所に設置してください。(ベース部の錆発生の原因になります。)
6. 組み立て作業は組み立て説明書の手順通りに行い、手袋等で保護し安全に行ってください。

- 幅・奥行き・深さとも約25cmの穴を掘り、コンクリートを流し込んでください。(4ヶ所)
- 組み立て及びアンカー工事費別途



L型のアンカーボルトを取り付けコンクリートにコンクリート用ナットで固定します。



アンカーボルトを取り付けコンクリートが固まってからナットを締め込んでください。

梱包別部品一覧表 ※床付きをご注文のお客様：床板部材は別紙参照

1/5 ①土台(前) /1本 ②土台(後) /1本 ③後鴨居 /1本 ④背面側縁(上) /1本 ⑤背面側縁(下) /1本 ⑥背面/パネル押え /2本	2/5 ⑦前柱(左・右) /2本 ⑧後柱(左・右) /2本 ⑨外補強板 /3本 ⑩内壁カバー板 /3本 4/5 ⑪波板(壁) /6枚 5/5 ⑫波板(屋根) /2枚	3/5 ⑬土台(左・右) /2本 ⑭屋根側板(右) /1本 ⑮屋根側板(左) /1本 ⑯中鴨居 /1本 ⑰縦側縁 /6本 ⑱側面側縁(上) /2本 ⑲側面側縁(下) /2本 ⑳屋根前カバー /1本 ㉑屋根後カバー /1本 ㉒側面/パネル押え /4本 ㉓波板屋根/パネル押え /1本 小物部品 アンカープレート /4本 (A)六角フランジネジ /56個 (B)タッピングビス /120本 スクリュービス /12本 フランジナット /11個 専用工具 /1個
--	--	---

シャッター部品

スラット (1枚) 鍵付きスラット (1枚) 水切りスラット (1枚) 水切 (1本)	巻取りシャフト (1本) ブラケット (左) (1個) ブラケット (右) (1個) ガイドレール (左) (1本) ガイドレール (右) (1本) 吊り元 (2枚) ⑥前鴨居 /1本 シャッター用小物部品 シャフト固定ボルト (2本) ナット (4個) ワッシャー付きボルト (2本) トラスビス 6×25 (8本) タッピングビス (10本)
---	---

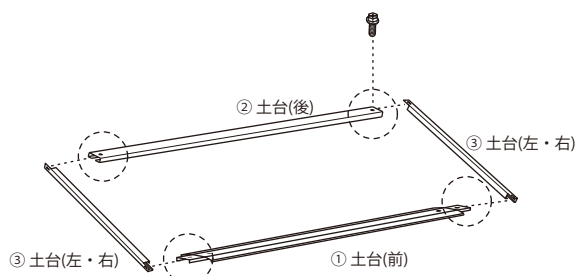
※シャッター部品が完成品の場合、 の部材が一体化して入っています。

組立説明書

物置の組立①

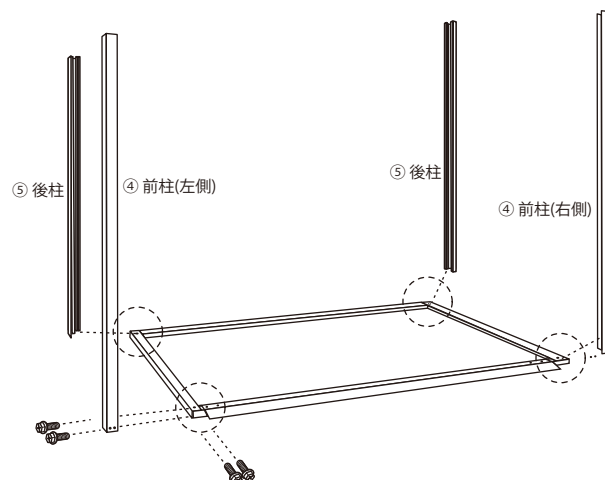
- 1** 地面をならし、①土台(前)・②土台(後)・③土台(左・右)を水平に設置し、(A)六角フランジネジで取り付けます。

×4



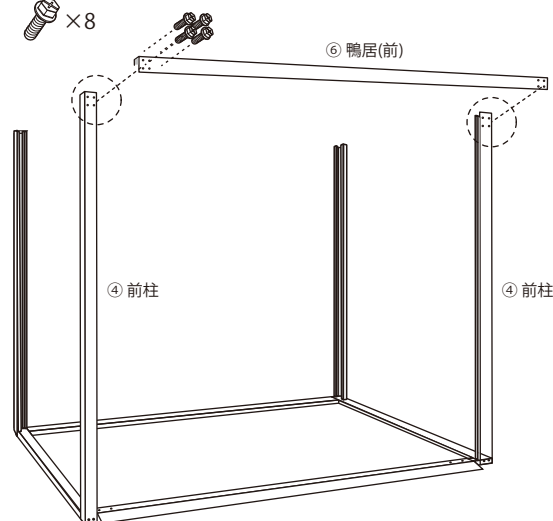
- 2** ④前柱(左・右)と⑤後柱(左・右)を(A)六角フランジネジで取り付けます。

×16



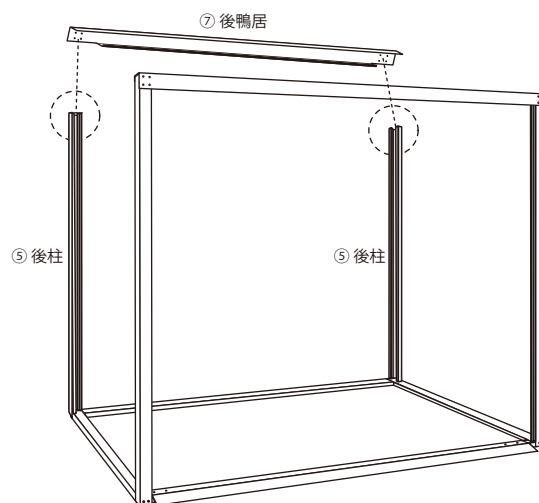
- 3** ⑥鴨居(前)を④前柱(左・右)に(A)六角フランジネジで取り付けます。

×8



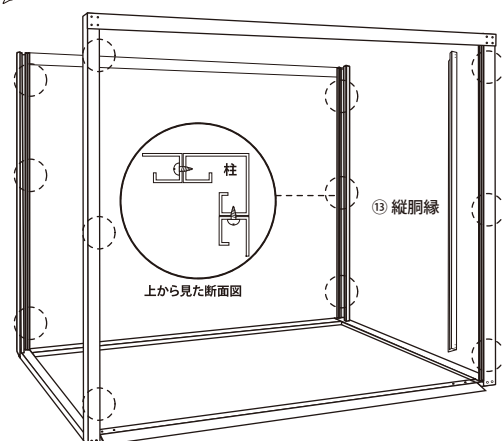
- 4** ⑦後鴨居を⑤後柱(左・右)に(A)六角フランジネジで取り付けます。

×8



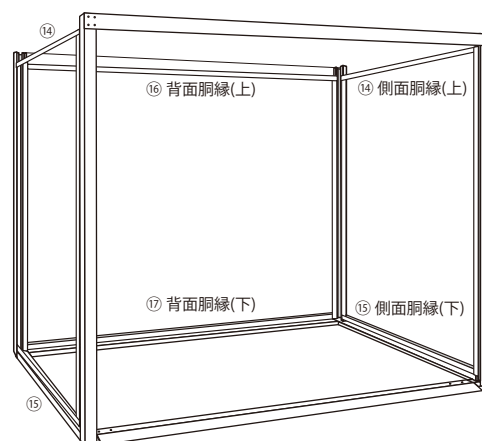
- 5** 先に⑬側面胴縁(下)と⑭背面胴縁(下)を②土台(後)と③土台(左・右)の上に置いてから、⑬縦胴縁を(B)タッピングビスで取り付けてください。

×18



- 6** ⑭側面胴縁(上)・⑮側面胴縁(下)・⑯背面胴縁(上)・⑰背面胴縁(下)を(B)タッピングビスで取り付けます。

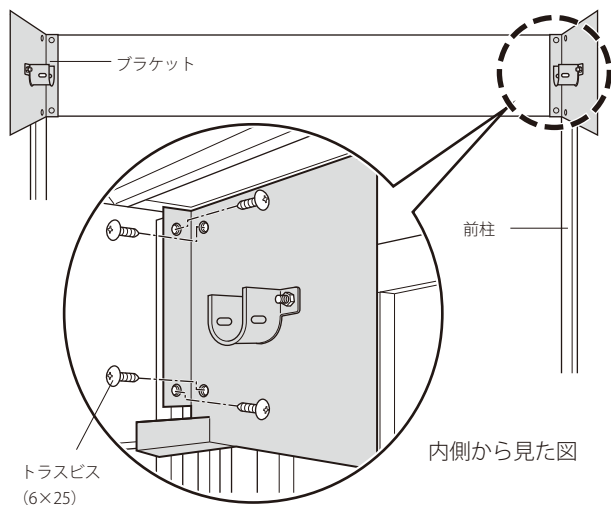
×42



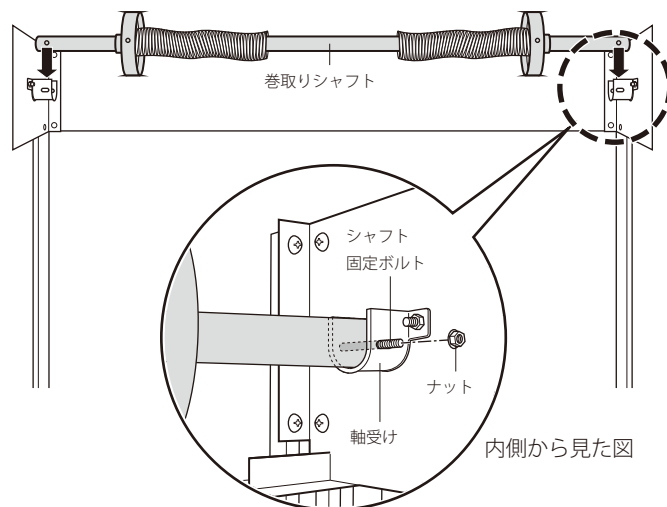
シャッター部品が完成品の場合は⑩に進んでください。

シャッターの組立①

- 7** 前柱のネジ穴に合わせて両側にブラケットを取り付け、それぞれトラスビス (6×25) 4本で固定します。



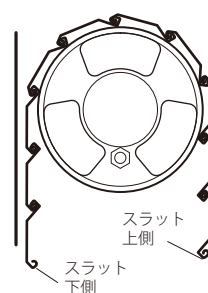
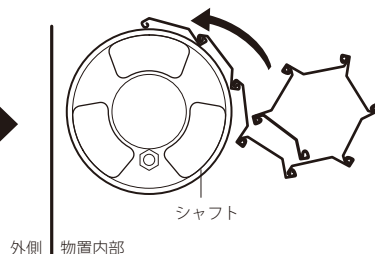
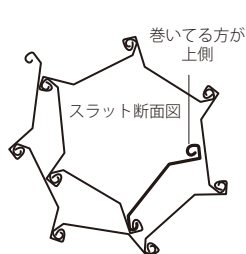
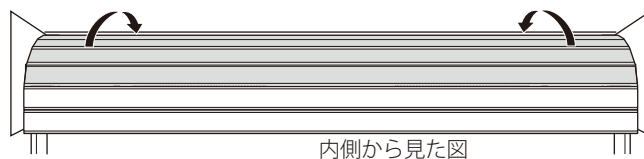
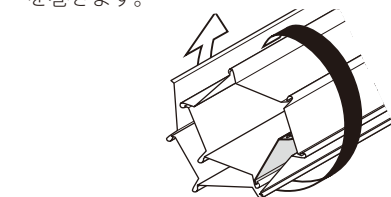
- 8** ブラケットの軸受けに巻取りシャフトを乗せ、シャフト固定ボルトで固定します。
※巻取りシャフトの向き (前後/左右) に注意してください。



- 9** 巻取りシャフトにスラットを乗せます。

① 上側が中になるようにしてスラットを巻きます。

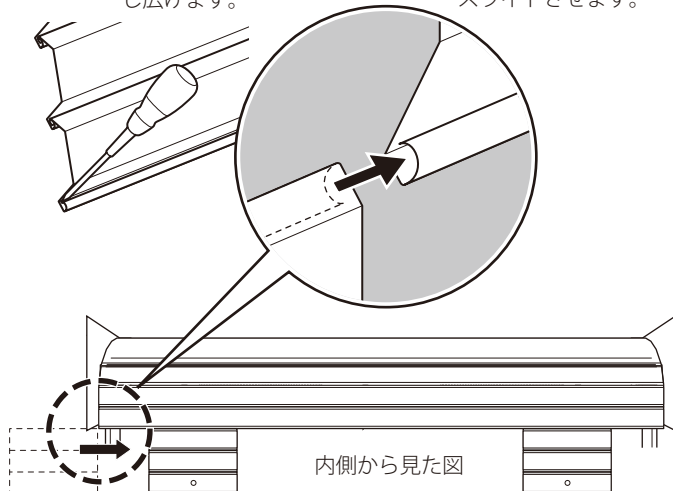
② 物置の中に入り、巻取りシャフトにスラットを乗せて、手前から奥に向けて下ろします。



- 10** スラットに吊り元を取り付けます。

① スラットを広げ、スラット上部の巻いている部分を少し広げます。

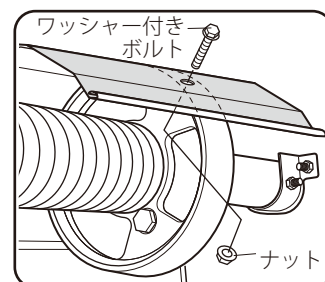
② 広げた部分から吊り元 (2枚) を差し込み、スライドさせます。



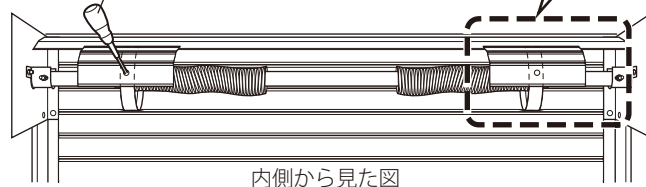
- 11** ワッシャー付きボルト・ナットで吊り元を固定します。

② 反対側も同様に吊り元を固定します。

① 取り付けした吊り元の穴と巻取りシャフトのプーリーの穴の位置に合わせて、ワッシャー付きボルトを通し、内側からナットで締め付けます。
※最初に片方をドライバー等で仮留めし、あとでボルト留めしてください。



ドライバー等で仮留め



⚠ バネシャフト固定ピンは絶対に作業前に抜かないでください！！

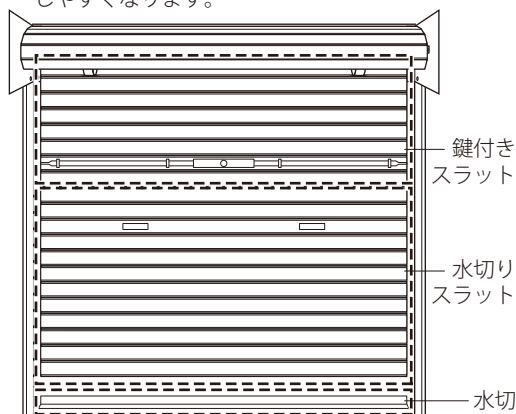
シャッターの組立②

12

スラットを繋ぎます。

① 鍵付きスラット、水切りスラット、水切の順番で繋ぎます。

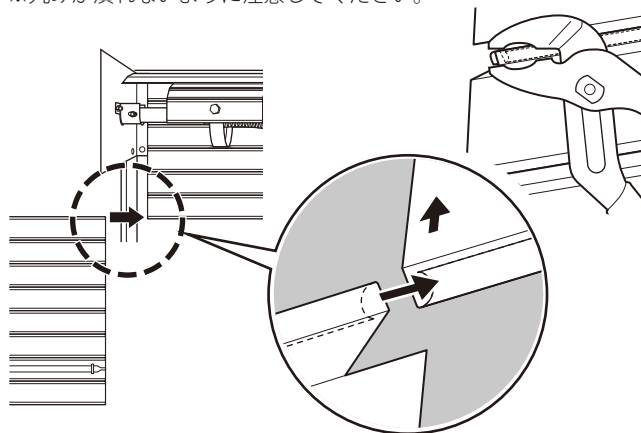
※このときにスラットを少し傾けるとスライドしやすくなります。



② 繋いだ部分をペンチなどで少し締め付けます。

※締め付けないとシャッターの使用中にスラットが片寄り、開閉に支障が出るなどの不具合の原因になります。

※丸みが潰れないように注意してください。



内側から見た図

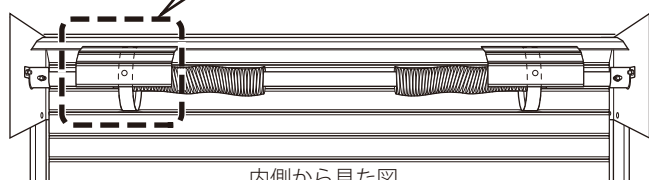
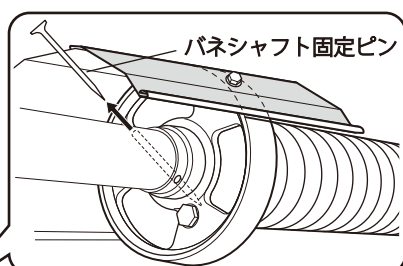
13

バネシャフト固定ピンを抜きます。

① バネシャフト固定ピンは、必ずスラットをすべて繋いでから抜いてください。

② 反対側も同様にバネシャフト固定ピンを抜いてください。

⚠⚠⚠
危険!!
⚠⚠⚠

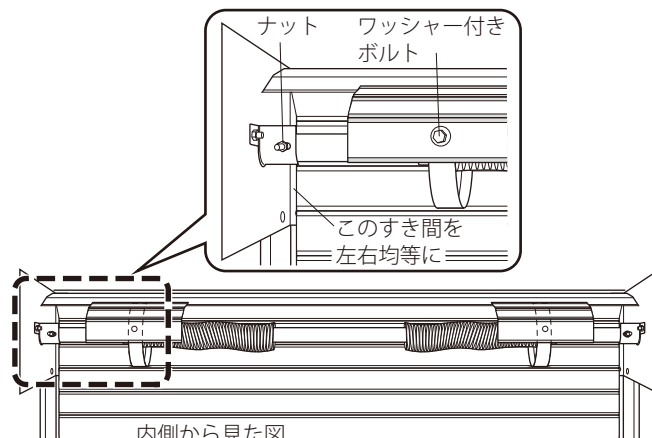


内側から見た図

14

吊り元とシャフトを固定しているボルト・ナット類をしっかりと固定し、スラットを巻き上げます。

※スラットとブラケットのすき間が均等になるように微調整してからボルト・ナット類を締めてください。



内側から見た図

⑯に進んでください。

シャッター部品が完成品の場合

15

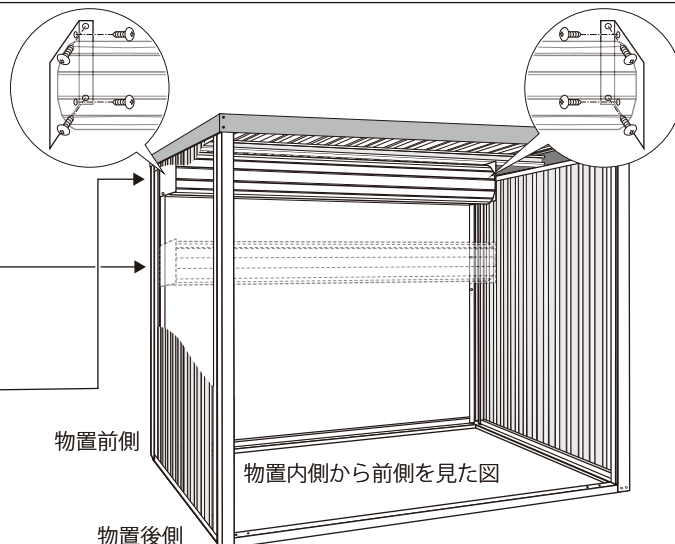
シャッター（完成品）を取り付けます。

※完成品を持ち上げる時は大人2人以上で行ってください。

※ ①は一度に持ち上げられない場合の工程です。

① 柱に仮留めビス(6×25)を半分ほど回し、(この仮留めビスは②で再利用します) この位置まで完成品シャッターを持ち上げて引っかけます。

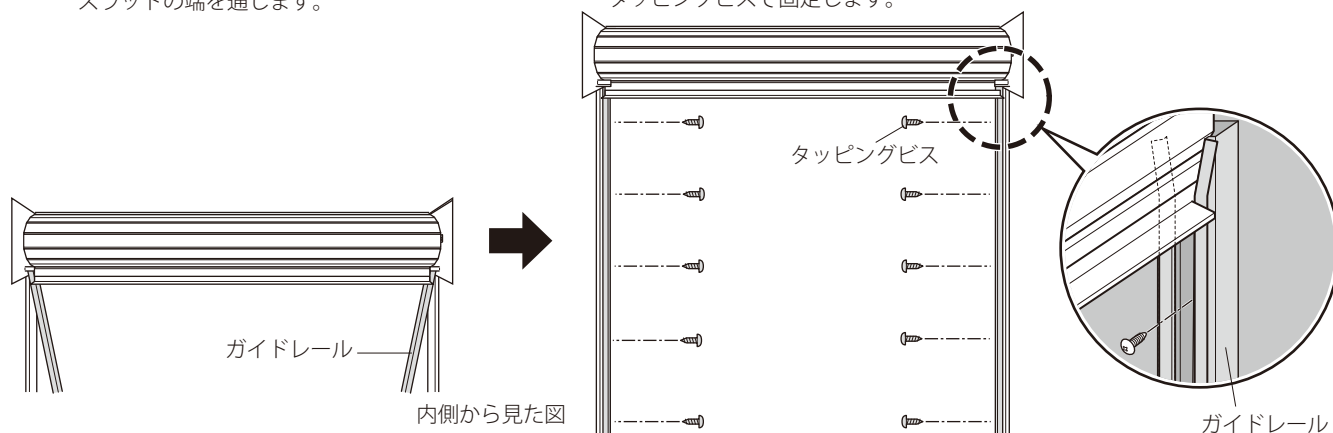
② この位置まで持ち上げてトラスビスで本留めする。トラスビス (6×25) 8本



シャッターの組立③

- 16** 前柱にガイドレールを取り付け、タッピングビス (10本) で固定します。
※左右で取り付け穴の位置が違います。ガイドレールにスラットを通す前に、
前柱とガイドレールの取り付け穴の位置を確認してください。

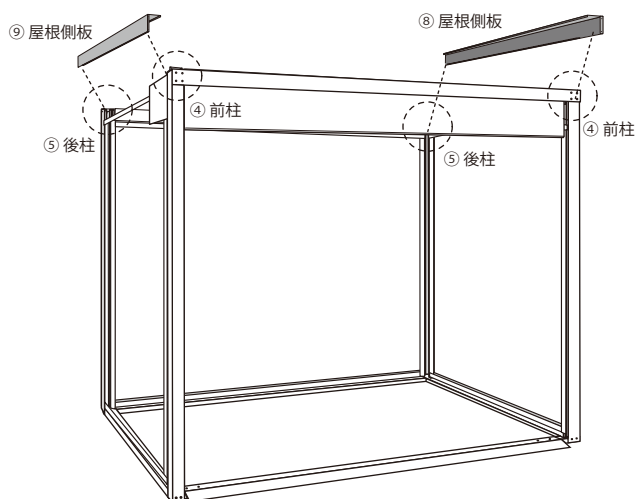
- ① ガイドレールのY型に広がった方を上にして、
スラットの端を通します。 ② ガイドレールを物置の枠にはめ込み、
タッピングビスで固定します。



物置の組立②

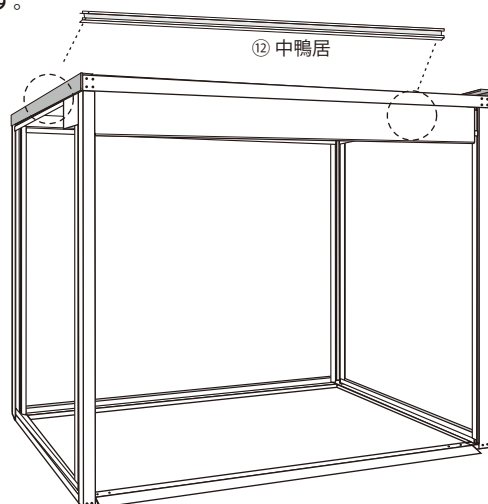
- 17** ④前柱・⑤後柱(4つあるネジ穴の下の2つ)に、
⑧・⑨屋根側板 (左・右) を(A)六角フランジネジで取り付けます。

×8



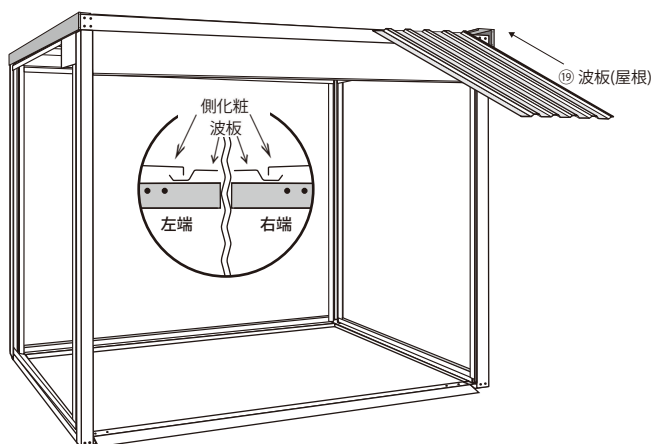
- 18** ⑫中鴨居を⑧・⑨屋根側板 (左・右) の長穴に合わせ
(A)六角フランジネジとフランジナットで取り付けます。

×2 ×2



物置の組立③

- 19** ⑬波板屋根パネルを右側詳細図の順番で
⑥鴨居と⑧・⑨屋根側板の隙間からスライドさせながら乗せてください。

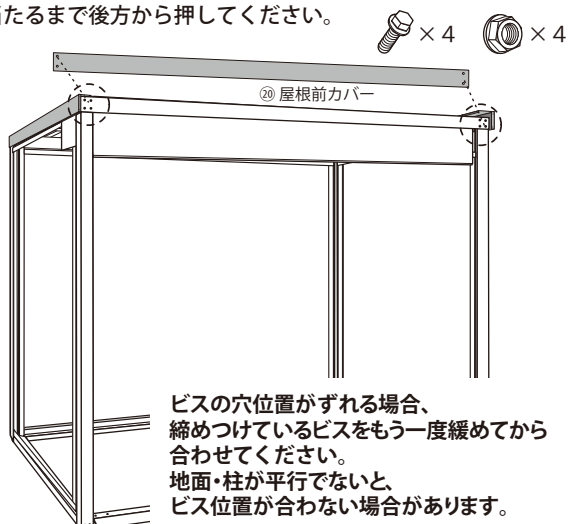


波板の組み立て詳細図

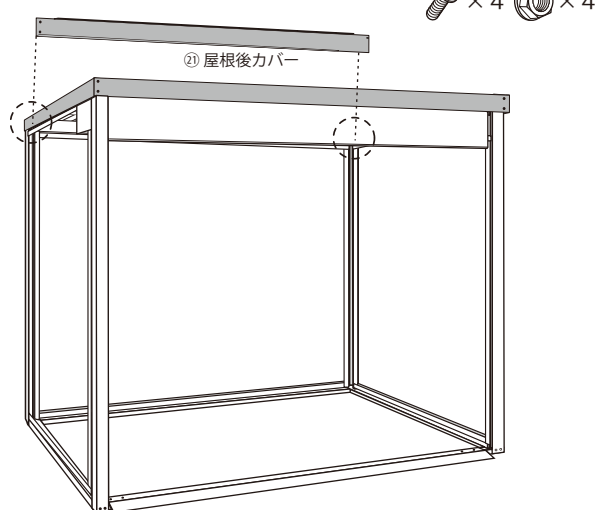


屋根板は右端→左端→真中と順番に重ねてください。
手袋をはめて、ケガをしないように注意して組み立てをしてください。

- 20** ⑥鴨居の隙間にフランジナットを入れ、手で押さえながら⑧・⑨側板の前部分に⑳屋根前カバーを(A)六角フランジネジで取り付けます。次に、⑬波板屋根パネルを㉑屋根前カバーに当たるまで後方から押してください。

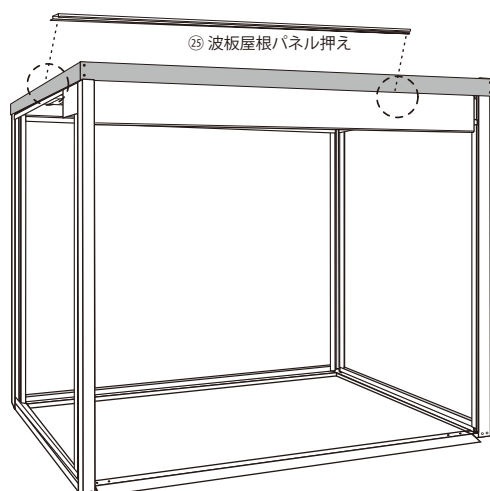


- 21** ㉑屋根後カバーを⑧・⑨側板の後ろ部分に、
(A)六角フランジネジとフランジナットで取り付けます。



- 22** ㉕波板屋根パネル押えを⑧・⑨側板の上から(B)タッピングビスで取り付けます。
左2ヶ所 右2ヶ所

× 4

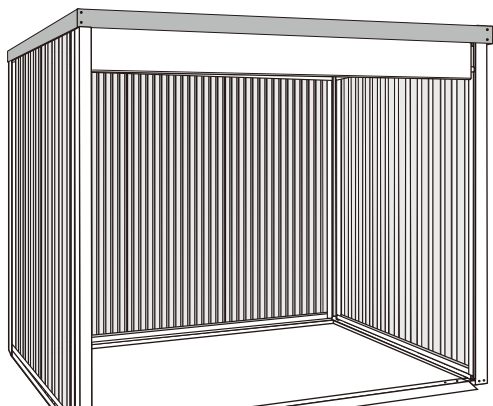


物置の組立④

23

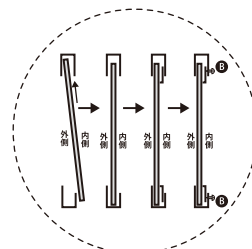
⑱波板(壁)を取り付け、㉓側面パネル押えと㉔背面パネル押えを入れ、(B) タッピングビスで固定します。(穴はなく、ビスで押して固定する。)

×44

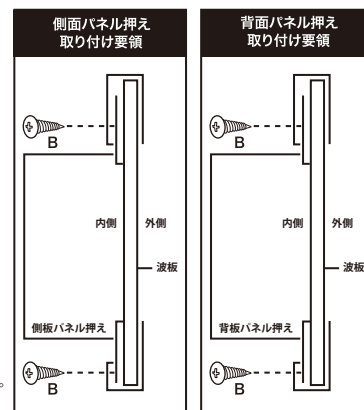


一度重ね合わせて見て左右寸法が合わない場合は1枚・2枚の上下を逆さまに変えて入れなおしてください。有効寸法が広がります。

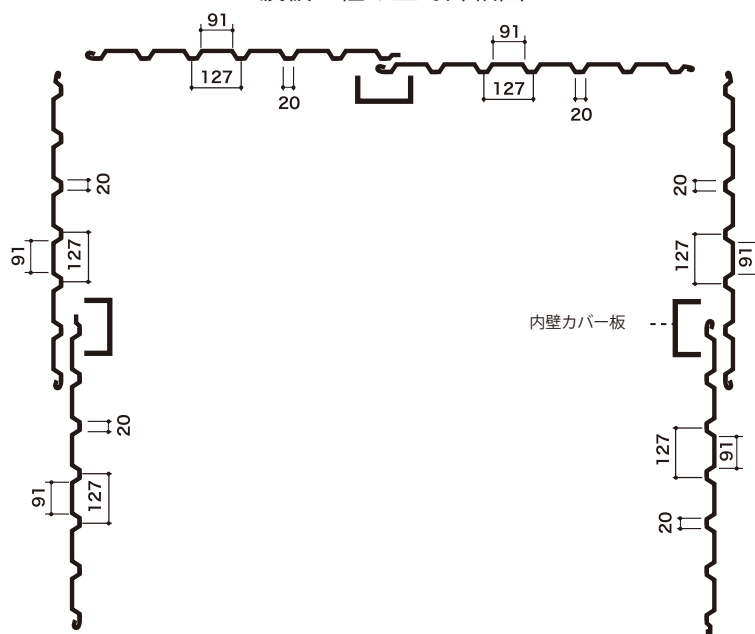
後側を先に取付け前側を後側の上に400mm程重ねて取付けてください。



左側面を前方向から見た断面図
右側面、背面も同じ要領で行ってください。



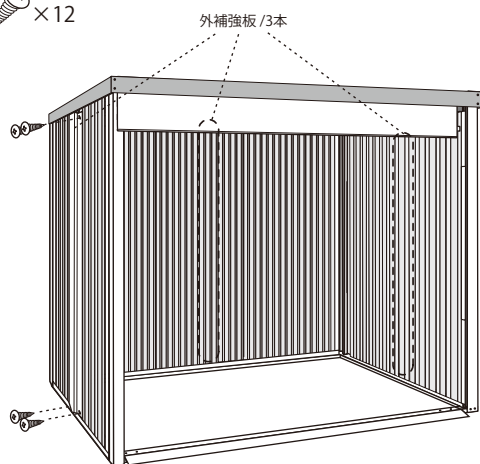
波板の組み立て詳細図



24

外補強板 /3本を波板の外側から取り付けてください。

×12

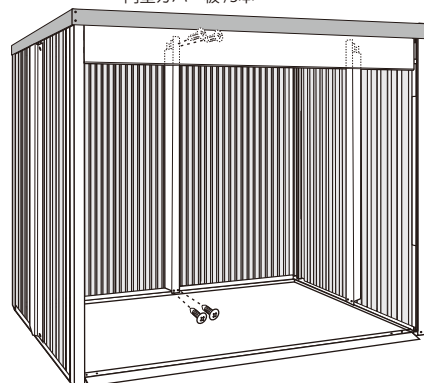


25

パネルが重なっているところに内壁カバー板 /3本を取り付けてください。(穴はあいていないので、スクリービスで穴を開けながら上下4ヶ所留める。)

×12

内壁カバー板 /3本



ホームページでも組み立て手順を載せています。 <http://www.daimatsu-dm.co.jp/index.html>

DAIMATSU

株式会社ダイマツ
本社：大阪府貝塚市久保421-6
Tel: 072-432-6633

泉南工場：大阪府泉南市樽井4-36-15
Tel: 072-480-1244 Fax: 072-480-1255 mail: info@daimatsu-dm.co.jp

【お問い合わせは泉南工場まで】